

地方公共団体名	愛知県安城市
所属部局	環境部環境都市推進課
地域の抱える 環境・脱炭素に関 する課題	昨年度安城市ゼロカーボンシティ推進戦略を策定し、市役所の率先行動を掲げ、本市としてより力強く地球温暖化対策を推進していく段階にあります。計画を策定している中で、本市のCO₂排出量の半分以上が産業部門からの排出であり、中でも中小企業の脱炭素経営が課題ということがわかりました。しかし、中小企業の状況を鑑みると資金・人材が不足しているため、脱炭素経営が優先度の低い状況にあり、セミナー開催や補助金制度等の支援をしていますが行動変容まで結び付けていません。カーボンニュートラルによる社会構造の変化に対応するためにもプッシュ型で支援をする必要があると考えています。 また、市役所の取組みとしては、ごみ焼却施設で発電したCO₂フリー電力の活用、公共施設での太陽光発電設備の設置や照明機器のLED化などを進めていますが、本市は脱炭素資源が乏しいこともあり、次の打ち手に苦慮しています。そのため、更なるCO₂排出量削減に向けて新しい技術（主にペロブスカイト太陽電池や燃料電池商用車を含む水素利活用）についても検討を進めています。加えて、職員の省エネに対する行動変容につながる取組みも進めていきたいと考えています。
環境・脱炭素と同 時解決したい地域 課題	・ 中小企業の経営を安定させ、地域経済の活性化を図りたい。 ・ 誰ひとり取り残すことなく社会構造の変化に対応し、住みやすいまちを実現したい。 ・ 市役所での参考となる事例を増やし、市内事業者や市民へ展開することで市民の生活を豊かにしたい。
地域のありたい未 来	地域経済が活性化し、快適で豊かな生活ができるまち
マッチングを 望む分野	高 1 その他 優 2 人材育成 先 3 公共施設での太陽光発電 度 4 水素 ↓ 低 5 その他 : 中小企業の脱炭素支援
マッチング企業と 取り組みたい事業	・ 中小企業の脱炭素経営 中小企業に対してCO₂排出量の可視化と削減にあたっての伴走支援に関する事業 ・ 職員の行動変容 ナッジ理論等を活用した行動変容を促す事業 ・ 新技術の導入 ペロブスカイト太陽電池の実証実験や水素利活用の提案